

2018年度町田市教育委員会

第1回臨時会会議録

- 1、開催日 2018年8月20日
- 2、開催場所 町田市庁舎二階 第一会議室
- 3、出席者
- |       |         |
|-------|---------|
| 教 育 長 | 坂 本 修 一 |
| 委 員   | 佐 藤 昇   |
| 委 員   | 森 山 賢 一 |
| 委 員   | 八 並 清 子 |
| 委 員   | 坂 上 圭 子 |
- 4、署名者
- 教育長  
委 員
- 5、出席事務局職員
- |              |         |
|--------------|---------|
| 学校教育部長       | 北 澤 英 明 |
| 生涯学習部長       | 中 村 哲 也 |
| 教育総務課長       | 田 中 隆 志 |
| 教育総務課担当課長    | 谷 勇 児   |
| (学校運営支援担当)   |         |
| 施設課長         | 浅 沼 猛 夫 |
| 施設課学校用務担当課長  | 小 宮 寛 幸 |
| 学務課長         | 峰 岸 学   |
| 学務課担当課長      | 中 溝 智 章 |
| 保健給食課長       | 有 田 宏 治 |
| 指導室長         | 金 木 圭 一 |
| (兼) 指導課長     |         |
| 指導課担当課長      | 野 田 留 美 |
| 指導課統括指導主事    | 辻 和 夫   |
| 教育センター所長     | 勝 又 一 彦 |
| 教育センター担当課長   | 林 啓     |
| 教育センター統括指導主事 | 宇 野 賢 悟 |

|              |         |
|--------------|---------|
| 生涯学習総務課長     | 佐藤 浩子   |
| 生涯学習総務課担当課長  | 早出 満明   |
| (兼) 総務係長     |         |
| 生涯学習総務課担当課長  | 貴志 高陽   |
| (兼) 文化財係長    |         |
| 生涯学習センター長    | 塩田 一人   |
| 図書館長         | 近藤 裕一   |
| 図書館市民文学館担当課長 | 吉川 輝    |
| (町田市民文学館長)   |         |
| 図書館副館長       | 中嶋 真    |
| 図書館担当課長      | 江波戸 恵子  |
| 書記           | 大河内 和歌子 |
| 書記           | 瓜田 円    |
| 速記士          | 帯刀 道代   |

(株式会社ゲンブリッジオフィス)

## 6、提出議案及び結果

議案第11号 町田市教育プラン2019-2023 (原案) について 原案可決

7、傍聴者数 0 名

## 8、議事の概要

午後1時30分開会

○教育長 ただいまから町田市教育委員会第1回臨時会を開会いたします。

本日の署名委員は八並委員です。

日程第1、議案審議事項に入ります。

議案第11号を審議いたします。本件については学校教育部長からご説明を申し上げます。

○学校教育部長 議案第11号「町田市教育プラン2019-2023(原案)について」、ご説明申し上げます。

本件は、教育基本法第17条第2項に定める「地方公共団体における教育の振興のための

施策に関する基本的な計画」である町田市教育プラン 2019-2023 の策定に当たり、パブリックコメントを実施するため、原案を作成するものでございます。

1 枚おめくりいただきますと、「町田市教育プラン 2019-2023（原案）」が添付してございます。この内容につきましては、これまで教育委員会協議会で検討してまいりました。そのほか教育プラン策定検討委員会や町田市経営会議等でさまざまなご意見をいただき、その内容に基づいて修正を図り、今回、内容を取りまとめいたしました。

本日は、時間の関係がありますので、町田市教育プラン 2019-2023 の概要を説明させていただきます。

初めに、1 ページの計画の位置づけになりますが、本計画は、町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」及び「町田市教育に関する総合的な施策の大綱」を尊重し、整合を図るとともに、「新・町田市子どもマスタープラン」など、他の計画との整合も図ってまいります。

3 ページ、4 ページでは、現行の教育プランの主な施策の取り組み、現状、課題を記載し、5 ページから 15 ページまでは、町田市の教育を取り巻く環境変化として、「今後予想される社会・経済状況の変化」、「学校を取り巻く課題の複雑化・多様化」、「将来の児童・生徒数の急減と学校施設の老朽化」、そして「生涯学習を取り巻く環境の変化」を記載しております。この中には、市民、保護者や教員への意識調査の結果も含んでおります。

次に、16 ページになりますが、現教育プランの取り組みと課題、教育を取り巻く環境の変化を踏まえ、教育目標と 4 つの基本方針を定めております。基本目標は「夢や志をもち、未来を切り拓く町田っ子を育てる。生涯にわたって自ら学び、互いに支え合うことができる地域社会を築く」といたしました。基本方針Ⅰは「学ぶ意欲を育て『生きる力』を伸ばす」、基本方針Ⅱは「充実した教育環境を整備する」、基本方針Ⅲは「家庭・地域の教育力を向上させる」、基本方針Ⅳは「生涯にわたる学習を支援する」としております。

24 ページ、25 ページでは、この 4 つの基本方針を受けて、それを実現するための 14 の施策、課題解決に向けて重点的に取り組む 43 の重点事業を体系図としてあらわしております。

27 ページ以降に、基本方針、施策ごとに、現状と課題、施策の方向性、目指す姿、重点事業を記載しております。

本教育プラン策定に当たり、より多くの市民や保護者の方にわかりやすいプランとするため、全ての重点事業で活動指標と目標値を設定し、その工程表を記載しております。ま

た、グラフや図、画像を多用するとともに、41 ページ、42 ページに記載があるように、新たにコラムを設定いたしました。

なお、本計画の進行管理は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、毎年度、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行い、実施状況を検証・公表し、その結果を次年度に活かしてまいります。

説明は以上でございます。

○教育長 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入りたいと思います。ただいまの説明に関して何かございましたら、各委員の皆様、よろしく願いいたします。

○佐藤委員 前は6月25日の教育委員会協議会で、その時点での案をお示しいただき、私たちがいろいろ意見を述べさせていただきましたが、16 ページに基本方針が4点掲げられていて、それぞれの基本方針の内容について、2項目ないし3項目にわかりやすくまとめただけだなと思っています。

この基本方針のそれぞれの内容に関する2～3項目ずつの内容がわかりやすくなったのですが、今度17ページ以降は、その基本方針を実現するための取り組みの視点として、取り組みの内容が並んでいます。私どもは何度も案をお聞きしているのでわかるのですが、初めて見る方にはわかりにくいなと思う点があります。

それは何かといいますと、例えば17ページは、上から3行目に基本方針Ⅰ「学ぶ意欲を育て『生きる』力を伸ばす」となっていて、その下に「新たな時代に必要な資質・能力を育みます」とあります。18ページに行きますと、1行目に「『生きる力』を町田ならではの取組により育みます」。この表題はどこから出てきたのかなということで改めて16ページを見ますと、基本方針Ⅰで掲げられた2つの項目が、そのまま17ページ、18ページの項目になっている。こういう関係だなというふうに理解をいたしました。

19ページは基本方針Ⅱですが、2行目に「一人ひとりの能力・可能性を育てます」とあり、20ページに「学校のマネジメント力を強化します」、21ページに「将来を見据えた学習環境の整備を進めます」とあって、これも16ページの基本方針Ⅱの3項目と連動しているわけです。今私が連動していますと言いましたが、連動していることがもっとわかりやすく示されると、初めて見る方もわかりやすいな。

例えば16ページの基本方針Ⅰに項目が2つありますが、これに①、②という番号をつけるのか、A、Bと記号をつけるのか、それはやりようだと思いますが、もし①とつけたと

すれば、17 ページの「新たな時代に…」の前に①とすれば、基本方針Ⅰで掲げた1つの項目がここにあるのだなということが明確になるわけで、これは基本方針Ⅱ、Ⅲ、Ⅳについても同じことが言えると思います。

そういう意味で、体裁の問題ですが、17 ページの基本方針Ⅰ「学ぶ意欲を育て『生きる』力を伸ばす」というものと、その次の①とつけるかどうかわかりませんが、「新たな時代に必要な資質・能力を育みます」との間を少しあけると、とてもわかりやすいなと思いました。19 ページも同様です。

そして22 ページと23 ページも同様に少しあけますが、22 ページで言えば、基本方針Ⅲには2つの内容があるわけで、下のほうの「保護者の学びや育ちを支援します」というところも、上と少しあけてもらえると、16 ページの方針の内容項目と一致して、見る者にとってはとてもわかりやすいなと思いましたので、ぜひご検討いただければなと思います。

○坂上委員 私も前回、6月25日の協議会のときに、いろいろ案を示していただいた中で、思ったことを言ったのですけれども、そのときにも言いましたが、41 ページの「いじめ防止に向けた取組を強化します」という欄で、町田市いじめ防止基本方針をここに張っているのですけれども、この大きさでは張っている意味がないので、どうせ張るなら、大きく見やすいようにということを前回言わせていただいたのですが、今回変わらずここへ載ってきたというのは、もうこの大きさでいいという考えでこの大きさで載っているのか、ちょっとお聞きしたいなと思いました。

○教育総務課長 最終的にページの配置などを検討した上で、この大きさについては最終的にまた検討させていただきたいと思います。

○坂上委員 変えていただけるということで安心しました。町田市いじめ防止基本方針はできれば皆さんにも読んでいただきたいので、読める大きさで張っていただけることを望みます。よろしくお願いします。

○佐藤委員 24 ページ、25 ページに、4つの基本方針ごとに施策と重点事業が出されています。基本方針Ⅰで示された施策、重点事業の背景には、先ほどお話ししました16 ページで示されているそれぞれの基本方針に関する主な内容や、17 ページから23 ページまでのそれぞれの内容に関する説明などがされていて、これらを背景にして、24 ページ、25 ページの施策、重点事業を見るというのが、このプランの体系から当然の見方だと思うのです。

そういう意味で、特に24 ページの基本方針Ⅰに示されている重点事業、あるいは基本方

針Ⅱに示されている重点事業と、例えば18ページに基本方針Ⅰに関する『生きる力』を町田ならではの取組により育みます」とありますが、これとの整合性を考えますと、18ページには「町田ならではの『学び』の充実」として、「学校図書館の機能強化」というのがあります。24ページでそれを探しますと、基本方針Ⅱの1の2のところに掲載されています。これはどういう位置づけで行うのかについて、明らかに整合性が図られてないと思いますし、同じように18ページの『地域の力』を活用した教育活動の推進」というのも、24ページ、25ページを見ますと、むしろ基本方針Ⅲのところ大きくかかわってくるのかなのかな。

また、24ページの基本方針Ⅰの重点事業で「いじめ防止対策の推進」、「キャリア教育の推進」、「食育の推進」ということが出されておりますが、17ページ以降の取り組みの視点の中にこれが明確に示されていないということも、体系的に少し問題があるのではないかなと感じたところです。これもぜひご検討いただければと思います。

○教育総務課長 17ページ以降の事業等の表現については、特徴的なものや代表的なものを挙げさせていただいておりますが、何を挙げるかについては、事務局のほうでももう一度精査をしていきたいと思っております。

○坂上委員 体裁的なことになるのですが、前のほうのページに、グラフ、表をたくさん掲載していただいているのですが、単位が入っているものと入っていないものがあります。これからパブリックコメントをとるということでしたら、単位を入れていただけると、見やすくなるのかなと思います。

例えば9ページも表がたくさんあるんですけども、パーセントが入っていて、一番上の表の保育サービス利用率は、左側が何人なのか何戸なのか、そういう単位のついてないところは入れていただけると、初めて見る方は見やすいのではないかなと思われました。一番下の折れ線グラフにしても、単位が何も入っていないので、よく読めばわかるかもしれないのですが、パッと見たときに、見やすくわかりやすくしていただけると、一般市民の方に見ていただいたときに親切かなと思います。

○教育総務課長 申しわけありません。単位については全て入れるように訂正をいたします。

○佐藤委員 31ページをお願いします。「ICT機器を活用した授業改善・個別学習の充実に取り組みます」ということで、大変重要で必要なことだと思います。1行目に「ICTを効果的に授業で活用することで、考える力、判断する力、表現する力を育成します」

というふうに述べられておりますが、ICT機器を活用することによって、知識とか技能とかを育てることに大変有効であると思っています。学力の概念の中に、知識・技能というのは当然重要な位置を占めるわけで、ICT機器はそういう考える、判断する、表現する力だけを育成するものではないと思っています。

次の32ページもコラムとして「ICT機器を活用すると何がいの？」とあります。ここでも「学びの活性化、学びの最適化」という用語が出てきますが、学びの最適化というところにつきましても、児童・生徒1人1人の学びに対して有効だということで、これは何も表現する力だけではなくて、知識・技能にかかわることを当然視野に入れるべきであって、知識・技能ということについて学力観から外さないように考えていただきたいなと思います。これは私の意見です。

○指導室長（兼）指導課長 今、佐藤委員からお話がありましたように、知識・技能と、思考力、判断力、表現力、この2つをもって学びに向かう人間性を育てていくということです。そういうことについては後ほど文言訂正をしたいと思っています。

○八並委員 37ページの「科学教育の推進」について、協議会の段階では検討中ということだったので、この新しい事業についてご説明をいただけますでしょうか。

○指導室長（兼）指導課長 現在、科学教育センターを、町田市の小学校、中学校を対象に行っているわけですが、科学教育センターのみならず、町田市として科学教育をどう進めていくかといった方針がまず必要だろうということで、科学教育センターの取り組みも含めた全体的なプランをまず考えていきたいと考えております。それを2020年度までに策定して、科学教育センターの実施内容の見直し・検討もあわせて行って、2021年度からの取り組みに生かしていきたいと考えております。

○森山委員 町田市教育プランの原案ですが、特にその大前提である、教育振興基本計画が国のほうでも、30年の3月、中教審で議論されたものが出されて、6月15日でしたか、閣議決定されたというところで、そういう最新の状況も把握されてこれをつくられたのだなと思いました。

特に現状の分析については、今大きな環境の変化というところで、町田市における教育を取り巻く環境変化をここでしっかりと把握して、その中で教育の目標、教育の方針、教育の基本方針を実現するための取り組みの視点ということで非常に明確に示されているのではないかなと思います。特に図を取り入れて、わかりやすく、新しいデータをこの中で使っているなということを感じました。

コラムについても多く取り入れておりますし、特に最近、SNSとか、AIとか、そういう一般的にはまだなかなか理解しにくいような言葉も大分出てきていますけれども、それについての解説と、町田市独自の取り組みとして非常に重要なものをコラムの中におさめているということで、目指す姿とか、今後町田の教育がどういう方向に進んでいくのかということやサイドからもわかりやすく示されているのではないかなと思いました。

ただ、丁寧に詳細な説明を加えれば加えるほど、どうしても中がごちゃごちゃと少し盛りだくさんになり過ぎたのかなという感じもするのですけれども、詳細に説明することによって、市民の方々もこの内容について、本当の意味での理解をしていただくという意味でのメリットもあったのではないかなと思います。

あと、出典のところでは何年という年号が入っているところとないところがある。恐らく最新のデータをお使いになられたと思うのですけれども。先ほど坂上委員のご指摘にもございましたけれども、タイトルと関係するところですが、タイトルがあるものかないものというか、そのあたりのところを可能であれば正確にお示しいただくと、今度もっと興味がある方が、それをもとに何か調べることもあるかと思えます。また、ほかの市とか、国単位とか、都道府県単位でも、そういうデータもあると思えますので、そういう意味では、そこでまた調べたいとかいうときにも、そのほうが市民の方々も実用的によろしいのではないかなと思いますので、そこはもし可能であれば、少し確認をしていただければありがたいと思えます。

**○佐藤委員** 46 ページを見ていただきたいのですが、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果について、全国、東京都、町田市の比較の図があり、それに関するコメントが、下の右側に「町田市の児童・生徒の体力合計点は、全国及び東京都の体力合計点に比べて低い」と書いてあります。この表を見ても、また具体的な数字を見ても、もちろん数字で引き算すれば低いわけですが、これをわざわざ低いと見なくてもいいのではないかなと思います。

つまり、コメントの表現として、例えば「町田市の児童・生徒の体力合計点は、特に女子については」云々と、場合によっては、上の表のコメントにもあるように、「特に中学2年生女子は」というふうに限定的に示して、それで低いというふうに評価したほうがいいのではないかなと思います。

**○指導室長（兼）指導課長** 今いただきましたご意見をもとに検討させていただきたいと思えます。

○佐藤委員 98 ページ、99 ページです。重点事業Ⅳ-3-3「地域で活動するボランティアの養成・支援」ということが示されております。これは私の感想ですけれども、これからの時代というか、時期というか、ボランティアの活動というのは大いに進められていいものではないかなと思っております。教育プランはもちろんこのままでいいわけですが、実際に実施するに当たっては、大いに力を入れていただきたいなと思ってます。

つい最近、マスコミで放映されましたように、スーパーボランティアの78歳の方が、2歳の男の子を探し出したということで、その方の経歴を見ると、あちらこちらでボランティアをされていて、そのときのコメントを聞きますと、まさにボランティア精神と私たちが考えていた、また、教育の場でもボランティアとはどういう姿勢かというのを教育するときにも、驚くような発言をあの方がなされているのを聞くにつけ、これからボランティアの子どもたちの教育も大事ですけれども、一般市民に対するボランティアの啓発というのもとても大事ではないかなと思います。

ここでは教育委員会の教育プランなので、生涯学習の視点からボランティアの養成・支援となっておりますが、大いにボランティアを育てて、町田市の地域社会で活躍するようなことを目指すためにも、力を入れて今後実施していただきたいなという意見を述べさせていただきました。

○教育長 そのほか、いかがでしょうか。――よろしいでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

お諮りいたしますが、本日、委員の皆様からいただきましたご意見を、事務局のほうで検討させていただいて、それを原案に反映した上で、パブリックコメントを実施してまいりたいと思っております。これにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 ご異議なしと認め、そのように取り計らってまいりたいと思います。

以上で町田市教育委員会第1回臨時会を閉会いたします。

午後2時1分閉会